

2学期始業式式辞

さあ、2学期です。

人をやる気にさせる言葉というのがあるそうです。アメリカ人には「これをするとヒーロー(ヒロイン)になれますよ。」と言えばよいそうです。イギリス人には「これをするのがジェントルマン(レディ)ですよ。」、ドイツ人には「これがルールです。」だそうです。そして、イタリア人には「これをするともてますよ。」と言うんだそうです。

それでは、日本人にはどう言えばよいのでしょうか。「みんなやっていますよ。」だそうです。これを否定的に見ることもできますが、日本人は集団の中で育ち、集団を大切にす国民なんだと考えています。東日本大震災や広島土砂災害の時、列にきちんと並び、少ない物を分け合う姿、自分勝手なことをせず、支え合う姿が世界から賞賛されました。

伊里中学校もそんな学校であってほしい、みんながしっかり育つ学校であってほしいと願っています。各学年にもう少し細かくお話ししたいと思います。

まず、1年生の皆さん、しっかりと成長し、十分に中学生らしくなりました。部活動の姿もたくましくなりました。ただ、1学期、とにかく小さなトラブルの報告が多すぎです。友達を軽く扱う人、よく考えずにものを言う人、中学生として幼すぎます。中学生は周囲に優しくできる人であってほしいと思います。人に感謝できる人、学校や学級のために力を出せる人であってほしいと思います。2学期の成長を楽しみにしています。

次に2年生の皆さん、何度も言いますが、本当に見事な神戸研修でした。真面目で前向きで2年生の皆さんは、川根先生も大きく成長したとよく言われます。課題は、大人しいことです。前に出るのを躊躇することです。日本人らしいとも言えますが、これから伊里中を引っ張っていかないといけないんです。まず、備前で納得のいく成績を収めましょう。次に、チャレンジワークでよい経験を積みましょう。そして、後期生徒会役員選挙でやる気を見せ、しっかり3年生からバトンを受け取りましょう。期待しています。

最後に3年生の皆さん。片岡先生のお話を聞くまでもなく、素晴らしい1学期でした。パワーと明るさに溢れ、1・2年生のよい手本となってくれました。

これからは自分の夢の実現に向けて、一步ずつ前に進んでいく時期です。私にも高校の先生をしている友達がいます。7月にこんな話を聞きました。「備前市を含めた東備地区にも優秀な生徒はいるけど、全体に横並び意識が強くて、勉強をものすごく頑張る生徒が少ない感じがする。岡山の生徒は塾でもまれとんか、もちろんいろいろな生徒がいるけど、自分のために頑張れる生徒が多くて、それに比べたら東備の生徒はもったいないと思う。」

1学期の人権集会で「ガリ勉」と言われた野さんがシュンとする場面がありましたね。だけど、今の便利な世の中を創ったのはガリ勉なんです。政治家も多くはガリ勉なんです。先生たちもみんなガリ勉して先生になったんです。勉強がすべてとは言わないけれど、勉強が自分の夢を実現する力になることは間違いないんです。外国に「知識とお金は荷物にならない。」ということわざがあるそうです。確かに勉強で得た知識もお金も、荷物にはなりませんね。3年生の皆さんには競い合って成績を伸ばし、まずは進みたい高校という夢を実現してほしい。そして、将来の夢へとつないでほしい。頑張りましょうね。

最後に、改めて全校の皆さん、伊里中学校がますます素晴らしい学校になるよう、2学期もよろしくお願ひします。